



『元気でやってる会』のご紹介

多摩丘陵病院 言語聴覚士 黒瀬 恵子

失語症の方とご家族の会です。1990年に『元気でやってる会』が、発足し、今年で24年目になります。失語症者とそのご家族、多摩丘陵病院の言語聴覚士7名が会員です。

活動は2ヶ月に1回(偶数月)、第3土曜日の午後、多摩市総合福祉センターをお借りして活動をしています。活動内容は、近況報告や一言コメントの発表、ゲーム、制作活動(年賀状・暑中見舞い、お料理会、ちぎり絵カレンダーなど季節によって)、失語症者の方々、ご家族の方々の情報交換、言語聴覚士がご家族の悩み相談を受けるなどなどです。

参加されている方は、多摩丘陵病院の入院や外来で、言語訓練を受けた方が多いのですが、お問い合わせをいただいて参加されるようになった方も多くいらっしゃいます。多摩丘陵病院のある町田市のほか、多摩市、八王子市、相模原市など近隣にお住まいの方々が参加されています。

会の名前でお分かりのように、発足当代表を務めていた失語症の方が、とても洒落っ気のある方でした。それは、今も会の雰囲気を受け継がれていて、「最初は自分から話せなくても、ここに来ると元気をもらえる♪」と仰る失語症者の方が大勢です。そして、笑顔いっぱいのお会です。

第9回フォーラム当日は、毎年恒例で作っている共同制作のカレンダーを展示して皆様に見ていただこうと思っています。会場では、どうぞお気軽にお声をおかけください。

